

さんこうとうごう 三校統合

とうぶしょうがっこうそうりつ 東部小学校創立

さんぶんきょうじょう にゆうがくしき しぎょうしき
～三分教場ごと入学式・始業式～

めいじ ねん がくせいこうふ せうりつ なが
明治5年の学制公布によって創立し、長い
ねんげつ あいだ ちいき あゆ み
年月の間地域とともに歩んできた三つの
しょうがっこう とうごう しょうわ ねん ねん げつ
小学校の統合は、昭和38年に、2年6カ月の
さいげつ へ じつげん
歳月を経てようやく実現した。

しんこうしゃ ま あ さん ぶんきょうじょう
新校舎は間に合わず、三分教場 ごと
にゆうがくしき しぎょうしき とうぶしょうがっこう れきし だいいつぽ
入学式・始業式で、東部小学校の歴史の第一歩
となった。がっこううんえい がくねんかい さんこうも まわ
学校運営では、学年会を三校持ち回り

ひら くふう そつぎょうしき むつみ こうみんかん おこな
で開くなど工夫していた。また、卒業式は、睦美公民館で行った。

がっこうきばん かくりつ む ふだん どりよく ひつよう じもと かがた
学校基盤確立に向け不断の努力を必要としたが、地元の方々の
あたた しえん しょくいん いよく ねつい とうごうこう かがや
温かい支援と職員 意欲・熱意によって統合校としての輝かしい
いっぽ き
一歩を記すことができた。



修学旅行



遠足



新校舎予定地での合同集会